

野
柏崎刈羽大會

球

校 柏一の元号が、いき物の如くに外れないのであるが、いかにも餘がたてにはある。認めると、ここで樂勝が予想が尚一言付するなら、自されたのであるが、事実は全くのべ、スに乗り切つた強さく薄氷を踏む危うさであつは恐らく柏一以上否上越蟹た。即ち開会窮頭の第一試勝も易々たると思わせる。

上越大会

佐藤六郎
上越中学水泳部の成績を省みて
この一戦二中の打撃率を極め、遂にバスケットトランプなスコアとなつた。内外特に外野守備の拙劣さが塚の大敗に拍車をかけたのであるが、それにして再三に亘る大会運営委員コールドゲーム勧告を最もまで頑強にはねのけた安中監督の態度は理解に苦むものである。

	直江津	市振
一中	0 0 0	0 0 0
明治	0 0 1	0 0 0
	2 0 0	2 0 0
	2 4 1	

第七回上越中学水泳大会は本年度は中郷ブール(短距離)において八月四日挙行された、この大会は過去に於て全日本中学ランク四位の輪(自由型四百メートル)同四位沢(平泳二百メートル)や久保田一位(自由型四百メートル)などを見生んだ伝統ある会である。本年ははじめて中郷村に場を移し参加校一部(ブル所有校)四校、二部(一ルなし)三校(米山中、参加)計七校であった。日本の水温二四度褐色の川でラインは全く見えない。云うブルーで熱戦が展開された。以下過去の記録と比較しながら戦績を追つてよう。(二部校は記録的みて低調であつたのでリーグの結果のみあげ一部校決勝レース四位までを採りした)

今へられたへ
者でた地区明

上越中学校水泳大會

校水泳大會		遠征記		後の所安野の烈	
中	金	子	武	一	
会	五〇	米自由型			
○	○	渡郡昨年度最高三一秒			
○	○	中頸城郡市大会最高三二秒			
○	○	小林(柏一)三一秒七			
○	○	青木(柏一)三二秒六			
○	○	高橋(柿崎)三四秒一			
○	○	小倉(新井)三五秒〇			
○	○	百米自由型			
○	○	○佐渡郡昨年度一分一秒五			
○	○	○中越大会(八月二日長岡悠久山)長山本(金泉)一分一秒八			
○	○	○小林(柏一)一分一秒五			
○	○	○三宅(柿崎)一分一秒九			
○	○	○阿部武(柏一)一分一秒六			
○	○	○小倉(新井)一分〇一秒六			
○	○	○佐渡郡昨年度二分五七秒			
○	○	○中越山本(金泉)二分四四秒			

本の片山つてやうにビ

吉(柏一)二分四五
中鄉由
八
④
二部校
磯部由
三

新井

二分二九秒
三分一九秒
三分一九秒
会場柏高球
参加校一六、
の二校出場

会催及び開

柏二
工球場
について連絡協議
三〇・一〇・一六・
中越中学校卓球大
刈羽予選会、会場
体育馆、参加校二

九八

卷之三

连云港 通州 仪征 仪化 泰州 泰兴 泰中 镇江句容 扬州 扬中 扬中龙

バレーボール

柏	一中は健斗むなしく破 が柏三中、石地中、田 は危げなく第二回戦に 進んだ。中でも三中は から鋭いタッチをきめ 倒し断然たる強みをみ いた。	
◇第二回戦		
斐太中	2-1-0 菱里	
柏三	2(2121-1215) 0	
上美のファイトも実 差は如何ともすること 来ず、三中前衛は高い から鋭いタッチをきめ から鋭いタッチをきめ と勝つ。		
作	石地 2(2121-178) 0	
さ	攻击力、サーブ力共 援	地がはるかに勝り渋町 の反撃も及ばず石地楽 う
開	田尻 2(2121-13) 0	
田	両チーム共に元気一 戦つたが後半田尻は調 出しアタックもきまつ 田を降す。	
上	上越地方においては 刈羽地区が最もレベル いといわれていたが、 を裏書きするように上 チームのうちに柏三中	

斐太足わるチで攻ト決勝を抜くもやし迫つてこゝへ中衛ら強烈に、スをアッセにて激戦となり田尻を誇る守共に地の堅石地は右地中に於てまるる前衛にて田尻なコソ右地快石地快を譲る。守共に先取。第二セットで鋭いタッチで切込この思つてはいる。張り中学校では底打石ができた。万年三番の連続の変化ができるよに於てたが本い攻撃何とかくすかれてゆつて合を運ぶ。そこで五二回戦の結果は、柏三中、小林が優勝して、北城北が二回戦を勝ち、柏中が通じて、柏高が二年生、柏南が一年生と成績を収めた。

に優れ自らのいたし個人戦で制覇している。庭球柏崎の名は佐原葉賀組がいて超中学校で廣広範囲の学校であるものである。校程の技術は観も不快なゼスチ純心そのもの子自身にしても此成が一番効果が思ひ出となるだ

はじめやゝ不調よりもかえすのは意以後は相手なかつたが三番の出場をまたずのを与える。四番の慎重な防備は敬服つた。結局4-1-1塙の防備は敬服つた。准決勝対内郷は同志討ちのようまつたがオーダーを奏して3-0を負いた。さて決勝戦はならない。一気決勝赤沢でまず二番大掛はかつて決勝研究やセイシヨン調でしきりにバッテ3-1-0で優勝したのであつた。因たの勝利はならない。左半身と等があげられ、練習法のこまシングの研究、特練習球を区別し作戦で功を奏しがれられようとしてのザーンにおよかつたと考える。

今後の問題とし、練習法のこま、左半身の他にかと御試合等を通じては共に練習校の美点を模範考えている。今は幸いと思う。

上越大会

首年月例勝を争つた安
中、鰐石中は早くも姿を
し、柏崎刈羽代表のうち

場中田房中と三元柏、しかも圧倒的な強さつて勝ち残ったのはめ

さまで三中、石地の決戦。
共に女子高校界に優秀。

秀な選。両校

式庭球

中通校のチーム
になると一見何

がいざ試合の変哲もない。

るべきではな